

とっとり 県議会だより

令和3年6月定例会

No.037

Jun.
6月
議会

主な記事 Contents

- 新体制スタート.....2~3p
- 代表質問.....4p
- 一般質問.....5~8p
- 委員会活動.....9p
- 議決結果.....10~11p
- お知らせ.....12p



6月定例会の概要 (6月14日~7月5日)

開会日、議長に内田博長議員、副議長に広谷直樹議員が新たに選出され、続いて、議会運営委員会委員の選任、各常任委員会委員の所属変更等がありました。

平井知事から総額80億7千万円余の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）などが提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党の所属議員、一般質問には22名の議員が登場。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

- ◎予算議案(2件)【可決】
- ◎条例議案(8件)【可決】
- ◎人事議案(7件)【同意】
- ◎その他の議案(4件)【可決】

【議員提出議案】

- ◎意見書2件【可決】
- 【請願・陳情】 不採択4件



表紙の写真

医療従事者への新型コロナウイルスワクチン接種の様子

(鳥取県立中央病院)
(令和3年3月撮影)

5月臨時会の概要 (5月24日)

新型コロナウイルス感染症対策を早急に実施するために臨時会を開催し、知事から、総額48億1千万円余の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）が提出されました。

【知事提出議案】 ◎予算議案(1件)【可決】



★議員別の賛否の状況は10,11ページでご覧いただけます。

新体制での鳥取県議会がスタート！

新議長就任あいさつ



第87代
鳥取県議会議長
うちだ ひろみち
内田 博長

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、本県においては、早期検査・早期入院・早期治療の徹底により、比較的少ない感染者数に踏みとどめています。ただ、産業雇用、県民の皆様への暮らしに大きな影響

を及ぼしていることから、引き続き支援策の充実を図るとともに、円滑なワクチン接種や感染防止対策に市町村と連携して取り組み、疲弊している社会・地域経済を立て直していくことが必要であります。一方、新型コロナウイルスにより生じている大都市圏から地方への新たな人の流れやデジタル化などの潮流を前向きに変革期ととらえ、将来を見据えた鳥取県

の未来を創造していくことが我々の責務となっております。

二元代表制の一翼を担う議会として、政策立案・監視機能のさらなる充実や、多様な意見の県政への反映など、議会改革に継続的かつ全力で取り組んでいかなければなりません。

私は、本議会が県民の期待と信頼に応え、遺憾なくその使命を達成できるように最善の努力をいたす所存でございますので、県民の皆様のご協力とご支援を心よりお願いいたします。

新副議長就任あいさつ



第81代
鳥取県議会副議長
ひろたに なおき
広谷 直樹

本県におきましては、急激に進む人口減少や加速化する高齢化、それに伴う地域コミュニティの担い手の不足に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組など克服すべき課

題は山積しています。こうした現状の中で、我々県議会がチェック機能を果たし、政策立案能力を上げて、県民の皆様の期待に誠心誠意応えていかなければなりません。微力ですが、議長をしっかりと補佐し、県議会が公平・公正で、かつ円滑に運営できるように最大限努力するとともに、県民の皆様から信頼される議会、活力にあふれ議員

一人ひとりが存分に力を発揮できる議会の実現を目指して全力で取り組みますので、よろしくお願い申し上げます。



各委員会の紹介

令和3年7月2日現在

議会運営委員会 (定数11人)

議会を公正かつ円滑に運営するため、定例会の会期や議事日程など、議会の運営に関する事項などを協議します。(◎：委員長、○：副委員長)

◎野坂 道明 (米子市・自民)	○伊藤 保 (東伯郡・民主)	尾崎 薫 (鳥取市・民主)	興治 英夫 (倉吉市・民主)
福田 俊史 (八頭郡・自民)	藤縄 喜和 (鳥取市・自民)	浜崎 晋一 (鳥取市・自民)	浜田 一哉 (境港市・自民)
澤 紀男 (米子市・公明)	内田 隆嗣 (米子市・自民)	島谷 龍司 (鳥取市・自民)	

議会改革推進会議

議会の在り方及び当面の諸課題について協議又は調整を行います。(◎：座長)

◎内田 博長 (日野郡・自民)	広谷 直樹 (岩美郡・自民)	市谷 知子 (鳥取市・無所属)	西村 弥子 (米子市・民主)
尾崎 薫 (鳥取市・民主)	川部 洋 (倉吉市・自民)	浜田 一哉 (境港市・自民)	銀杏 泰利 (鳥取市・公明)

常任委員会

議会に提案された議案等を専門的、能率的に審査及び調査します。

総務教育常任委員会 (定数9人)

委員長	副委員長			
藤井 一博 (東伯郡・自民)	語堂 正範 (東伯郡・自民)	福浜 隆宏 (鳥取市・無所属)	常田 賢二 (鳥取市・自民)	森 雅幹 (米子市・民主)
興治 英夫 (倉吉市・民主)	浜崎 晋一 (鳥取市・自民)	西川 憲雄 (八頭郡・自民)	澤 紀男 (米子市・公明)	

主に令和新时代創造本部、総務部、会計管理局、教育委員会、監査委員及び人事委員会に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項について審査、調査します。

福祉生活病院常任委員会 (定数9人)

委員長	副委員長			
尾崎 薫 (鳥取市・民主)	鹿島 功 (西伯郡・自民)	市谷 知子 (鳥取市・無所属)	濱辺 義孝 (鳥取市・公明)	藤縄 喜和 (鳥取市・自民)
浜田 一哉 (境港市・自民)	内田 博長 (日野郡・自民)	福間 裕隆 (西伯郡・民主)	野坂 道明 (米子市・自民)	

主に福祉保健部、子育て・人財局、生活環境部及び病院局に関する事項について審査、調査します。

農林水産商工常任委員会 (定数9人)

委員長	副委員長			
松田 正 (米子市・自民)	西村 弥子 (米子市・民主)	山川 智帆 (米子市・無所属)	由田 隆 (倉吉市・無所属)	山口 雅志 (鳥取市・自民)
浜田 妙子 (米子市・民主)	中島 規夫 (鳥取市・自民)	福田 俊史 (八頭郡・自民)	斉木 正一 (米子市・自民)	

主に商工労働部、農林水産部、企業局及び労働委員会に関する事項について審査、調査します。

地域づくり県土警察常任委員会 (定数8人)

委員長	副委員長			
川部 洋 (倉吉市・自民)	安田 由毅 (境港市・自民)	坂野経三郎 (鳥取市・民主)	広谷 直樹 (岩美郡・自民)	伊藤 保 (東伯郡・民主)
内田 隆嗣 (米子市・自民)	島谷 龍司 (鳥取市・自民)	銀杏 泰利 (鳥取市・公明)		

主に交流人口拡大本部、危機管理局、地域づくり推進部、県土整備部及び警察本部に関する事項について審査、調査します。

※新型コロナウイルス感染症対策本部事務局に関する事項は、それぞれの委員会ですら所管しています。

決算審査特別委員会 (定数32人)

一般会計、特別会計等の決算及び財政的援助団体の経営状況について審査します。(◎：委員長、○：副委員長)

◎興治 英夫(倉吉市・民主) ○中島 規夫(鳥取市・自民) (正副議長、監査委員を除く全議員)

(◇：主査)

総務教育 分科会	◇浜田 一哉 坂野経三郎 山川 智帆 山口 雅志 伊藤 保 内田 隆嗣	福祉生活 分科会	◇銀杏 泰利 福浜 隆宏 語堂 正範 西村 弥子 川部 洋 松田 正 野坂 道明
農林水産 商工分科会	◇鹿島 功 市谷 知子 安田 由毅 浜田 妙子 西川 憲雄 澤 紀男 島谷 龍司	地域づくり県 土警察分科会	◇常田 賢二 尾崎 薫 濱辺 義孝 興治 英夫 斉木 正一 浜崎 晋一
公営企業 分科会	◇森 雅幹 由田 隆 藤井 一博 中島 規夫 藤縄 喜和 福間 裕隆		

広報委員会 (定数6人)

県議会だよりの企画、編集及び校正について協議、調整を行います。(◎：委員長)

◎広谷 直樹(岩美郡・自民) 坂野経三郎(鳥取市・民主) 福浜 隆宏(鳥取市・無所属)
語堂 正範(東伯郡・自民) 鹿島 功(西伯郡・自民) 山口 雅志(鳥取市・自民)

代表質問

鳥取県議会自由民主党



選挙区 米子市
松田 正 議員

新たな地方創生の礎づくり

問 コロナ禍の影響を受けた県政運営も任期の折り返し点だが、知事の選挙公約の達成状況を伺う。ポストコロナに向けた新たな地方創生の礎づくりも必要だが、任期後半の県政運営にどう臨むのか。

答 公約は9割近く達成しているが、コロナ禍で国際・観光などは目標を置き直す必要がある。コロナ禍で地方分散型が見直されており、そうした観点で政策の立て直しを図っていく必要がある。

新型コロナウイルス対策

問 限られた医療資源の中で、進化し続ける新型コロナと闘い、県民の命をいかに守っていくのか。

答 早期検査・早期入院・早期治

療という鳥取方式の徹底が第三。四波に有効だったので、国の新型コロナ感染症対策分科会でも必要性を申し上げたい。鳥取方式と科学的手法も駆使しデルタ株に備えたい。

憲法改正への認識

問 新型コロナ感染拡大により緊急事態条項の追加などの議論があるが、緊急事態対応のための憲法改正について知事の認識を伺う。

答 諸外国の新型コロナ対応が非常事態の法制を考えるきっかけとなっており、憲法における基本的人権の調整規定の必要性は議論に値すると考えている。

サイクルツーリズム推進

問 ナショナルサイクルルート（※1）の指定に向けてどう取り組むのか。

答 例えば60キロ毎の宿の整備などのハードルを乗り越えるため、地元として体制を組んでいかなければならず、まずは運動を起こしていく必要がある。

問 ナショナルサイクルルート指

定に向けた取組などサイクルリングを活用した鳥取発の施策展開に向けた専門部署を設けるべき。

答 安全対策も含めた総合統括的な課内の推進チームなど、組織対応を検討したい。

今後の国際交流の方向性

問 ポストコロナの国際交流の方向性として、台湾との関係を強化するよう展開を考えてはどうか。

答 コロナ後に向けてこれまでの御縁を続けて、チャーター便からいずれば定期航空路開設も目標とするなど、台湾を今後の核として交流拡大を図っていきたい。

子ども庁創設への期待

問 政府において子ども庁創設の検討が進められているが、子育て王国の更なる発展に向けてどのような期待を持たれているのか。

答 施策や人材の一元化により、縦割りを打破し、OECD諸国と比べても平均的な子育て施策が成立することが重要であり、議論は大いに歓迎したい。

ウッドショックへの対応

問 ウッドショックが続く中、今後、県産木材にシフトしていくのであれば、大断面集成材（※2）等の生産も含めて検討していくべ

きでは。

答 山側にとって供給を増やす千載一遇のチャンスであり、国の森林・林業基本計画を横にらみしながら、戦略を練った上で今後の事業展開の応援をしていきたい。

障がい者スポーツの振興

問 県東部にある障がい者スポーツ拠点施設「ノバリア」のサテライト機能の中西部への横展開など、障がい者スポーツが全県的に根付くようどう取り組むのか。

答 人材育成が重要。現在障がい者スポーツを支えるガイド人材が二百人おり、更に認定コーチを四五〇人つくるなどの運動を進めている。中西部でもサテライトをつくり、障がい者スポーツの振興を進めていきたい。

流域治水の推進

問 米子市淀江の宇田川など県管理の二級河川では、整備計画について地元の理解があまり進んでいないところもあるようだが、流域治水プロジェクトをどう進めていくのか。

答 宇田川は度重ねて被災しており、平成23年には輪中堤（※3）を地元と協議したが反対も多く凍結した。この機会に丁寧な話し合いをしながら対策を考えていきたい。

（※1） ナショナルサイクルルート：国が指定する一定水準を満たしたサイクリングルート。

（※2） 大断面集成材：大型木造施設などに用いられる断面の大きな構造用集成材。

（※3） 輪中堤（わじゅうてい）：ある特定の区域を洪水の氾濫から守るために、その周囲を囲むようにつくられた堤防。



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

- ①生活困窮者支援
- ②収入保険③林業対策

問 ①生活困窮者が生活保護にならないよう、積極的に職業訓練などで受け入れ、就職の道を開くべき②収入保険、公明党提案の制度で収入全体の減少に補償を進めるべき③原木生産量50万m³という高い目標でスタート。積極的に事業展開せよ。

答 ①就職あっせんや職業技能を磨くオンライン講座を9月から開く方向②農業者収入保険を活用した特別の制度を作った③皆伐再造林がポイントになる。消費の拡大、省エネ住宅化を進めるなど木材の利用を図る。



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

- ①スマート農業の推進
- ②食農教育③木育

問 ①どのようにスマート農業を推進していくのか②学校と農業団体と連携し食農教育を今以上に推進しては③木育活動拠点はなくはない。施設確保をどのように推進するのか。

答 ①社会実装の実証事業を展開し、意欲的に関心のある方が挑戦するよう事業拡大を求める②(教育長)今後も農業団体と一緒に考えながら、連続性が図れるように取り組んでいく③東部と西部にはあるので、中部を視点を置き、木育サポート団体と協力しながら一層進めていく。

一般質問

6月定例会では、22人の議員が一般質問を行いました。
本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。
なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。
※掲載に時間がかかる場合があります。

会派正式名称

- 【自由民主党】鳥取県議会自由民主党
- 【会派民主】会派民主
- 【公明党】公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部長の答弁も含む)。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

- 文化芸術の振興と地域の活性化について

問 地域づくりと一体となった工芸・アート村推進事業の取組による文化芸術と地域活性化の融合について知事の所見を伺う。

答 工芸・アート村は地域に根差したアートの姿を目指したアーティストリゾートの延長で地域間交流を絡めながらまちづくりに影響させようとするものであり、鳥取市西郷地区での成功例を他にも発展させるために推進事業として取り組んでいる。地域活性化と繋がりがながらこの活動を募って来る移住者も現れ、一つの動きになっている。



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

- ①自転車タウン構想
- ②不登校特例校

問 ①通勤多い都市部での自転車通行帯の整備を。自転車に切り替えることによるCO₂削減量を、杉の木の吸収量に置き換え画面で森が作れるアプリ開発を②不登校特例校を夜間中学と同等に捉え、不登校対策で実績ある私学とも連携して設置の検討を。

答 ①自転車通行帯整備に賛同。ただ関係者が絡むので丁寧に調整を進める。アプリは自転車以外にも拡大し当初予算に向け検討②色んな教育機会があって良い。受け皿は必ずしも十分ではない。関係者と相談させていただきたい。

福田 俊史 議員
 選挙区 八頭郡
 会派 自由民主党

アフターコロナにおける本県の地方創生とは

問 政府はDX（※2）やテレワーク等、地方創生の新たな取組を推進しているが、人口の地方分散の兆しが生まれ始め、過密から過疎への意識が高まっている。アフターコロナを見据えた本県の地方創生戦略と産業戦略は？

答 DXは地方における重要なポイントであり、行政はもとより産業レベル、民間レベルでも働き方改革や生産性向上、販路拡大につながっている。パラダイムシフト（※3）は八頭郡など県内に目が向く好機であり、これを機に挑戦を強めていきたいと思う。

坂野経三郎 議員
 選挙区 鳥取市
 会派 会派民主

①城跡整備計画②県庁のBCP③不登校特例校

問 ①城跡整備を行う市に対する支援に加えて、久松山を考える会や鳥取YEG（※1）のような市民の機運醸成にバックアップしては②県のデータ心臓部である議会棟別館1階のデータセンターを水害から守る対策をすべきだ③公と私立が力を合わせ公私協働の不登校特例校を作っては。

答 ①県の事業の中で応援する②1000年に一度の水害に備え、防水壁で対応を検討中③（教育長）夜間中学に特例校を位置づける可能性も含め、市町村や私立と意見交換していく。

野坂 道明 議員
 選挙区 米子市
 会派 自由民主党

公有財産の適正管理について

問 ①施設配置の最適化の観点から県営東山水泳場と市営皆生市民プールについて統合も含め検討課題だと思うが所見を伺う②公共施設の予約システムについて共同でインフラが出来てもソフトが伴わなければ仏作って魂入れずとなるが所見を伺う。

答 ①他の施設も含め市と県で共同化をしたりソフト面もあることから協議の場を市側に申し入れをしたい②特に都市部の公共施設は広く県民が使う施設でもあり共同運用について市の方に重ねて呼びかけて参りたい。

興治 英夫 議員
 選挙区 倉吉市
 会派 会派民主

**①コロナ禍の生活支援
 ②洪水防止の河川整備**

問 ①コロナ禍で生活苦に陥った人の就労支援に県の関りを強めるべきだ。生活保護については、自動車の保有・使用の要件緩和を図るべき②洪水被害を防ぐために、河川の河床掘削、樹木伐開や、粘り強い堤防の整備を、一層迅速に進めるべきだ。

答 ①就労支援等を強化するため、県立ハローワークなども関わった協議体を考える。自動車保有の弾力化等の制度運用を国に要望する②国府川の米積、小鴨川の大鳥居、北谷川の三江など、早期整備に予算確保したい。

澤 紀男 議員
 選挙区 米子市
 会派 公明党

芸術・文化の振興について

問 「アートピアとっとり」のモデルとして「鳥の劇場」は、演劇創作を中心に国内外の優れた舞台作品の上演や演劇の力を使って地域の人材育成、地域づくり、障がいのある人となない人がともに舞台をつくり上げるなど様々な活動をしている。今後の支援、鳥取県文化振興財団との連携について知事に伺う。

答 鳥の劇場の活動はアーティスティックリゾート構想の第一号。クリエイティブ、創るということについて文化振興財団との提携は必要、しっかりと支援する。

川部 洋 議員
 選挙区 倉吉市
 会派 自由民主党

教育機会確保法と多様な学びの場

問 教育機会確保法で学校復帰を前提としない多様な学びの場も認められたはずだが、県内のオルタナティブスクール（※4）の生徒が出席扱いになっていないのは、県教委が多様な学びの場について間違った理解をしていて、市町村教委や学校もそれに倣っているからではないか？

答（教育長）子どもたちの自主性や主体性を尊重し、居場所がそこにあるという点では決して否定するものではない。「一定の学び」という文科省の通知をくみ取り、対応している。

（※1）鳥取YEG：“鳥取商工会議所青年部”の略。
 （※2）DX：“デジタルトランスフォーメーション”の略。デジタル技術による社会変革。
 （※3）パラダイムシフト：その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や思想、社会全体の価値観などが革命的に、もしくは劇的に変化すること。
 （※4）オルタナティブスクール：フリースクールや無認可校などを含めた学校の総称。



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

奨学金返還支援制度の活用及び相談体制構築

問 貸与型の奨学金の返還が、社会人になって重くのしかかっている。奨学金返還支援のほか移住定住促進等の課題解決となる国の若者定着促進の特別交付税措置を市町村で活用すべき。また、返還困難時の教育現場における相談体制の状況を問う。

答 当該制度が市町村でも活用され積極的に加わっていただけよう、周知徹底を図りたい。(教育長)就学に支障がないよう相談体制を構築したい。県民への情報提供時の市町村との連携は有効ととらえ、検討を進める。



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

山陰近畿自動車道南北線のスケジュールは

問 早期の開通が待ち望まれる南北線だが、計画路線上に家屋や会社がある方は今後の生活設計や会社運営もあり、建設スケジュール、特に買収時期を心配しているが、知事の考えを伺う。

答 現在、県が進めている令和4年度目標の都市計画決定が少し遅れている。これが決定されると国の事業化となるが、早ければ3年で買収となる。早期の開通には地域の方(地権者)のご理解とご協力を、お願いしたい。



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

コロナ禍の医療費減免、島根原発、校則

問 ①コロナ禍医療費減免制度利用ゼロ。国保料滞納で使わせない罰則止めさせよ②島根原発2号機新規規制基準はフィルターベントで放射性物質全て除けずトリチウムは海に放出。高レベル放射性廃棄物の処理場未定。地震M7.5で境港市82.5%液状化、建物94%壊れ、屋内退避や避難できるのか。ハッキリ再稼働ノーを③人権侵害の校則見直しを。

答 ①市町村の判断②審査を注視。議会と協議・地元意見で判断③(教育長)人権侵害はあってはならず、必要に応じて見直す。



山川 智帆 議員

選挙区 米子市
会派 無所属

島根原発・災害対策費等の財源

問 島根県と比較すると、電源三法に基づく交付金は島根県約1,293億円に対して鳥取県約47億円。島根県が条例化している核燃料税は島根県199億円に対して鳥取県ゼロ円。リスクに見合うとは思えず、見直しが必要では。

答 財政論については議員の考えと変わらない。条例化は難しいので便宜上寄付金としているが、周辺に対してより法的権限のある財源措置が必要と、中電や国に申し上げていく。



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

米子東山新体育館構想について

問 県立米子産業体育館、米子市民体育館、米子市営武道館を加えた3施設を統廃合し、東山公園内に新体育館を共同整備するにあたり、観客席がバスケットボールB1リーグの加盟条件である最低5,000席と比べて少ないと考えるが、所見を伺う。

答 B1リーグの場合、パイプ椅子や立ち見席も含めて5,000席のカウントをする。基本構想はロイヤルシート等を含めて3,000席規模であり、B1リーグに対しては十分対応できる。



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡
会派 自由民主党

本県水産業の振興と領土問題教育を問う

問 ①日韓暫定水域及び我が国の排他的経済水域における漁業秩序の確立を国の責任において粘り強く訴え続けるべき②食育を通じて歴史認識、領土問題に絡んで、学校現場で考える機会にはどうか教育長に伺う。

答 ①水産庁が中心となって交渉すべきと訴えかけてきた。強力に関係者と粘り強く国へ要請を行っていく②(教育長)子どもたちが日本の領土について正しく学ぶことは、極めて重要なことである。歴史を自分事として捉える取組を進めていく。

森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

容疑者の検挙とその後の被害者支援について

問 容疑者逮捕後、検察の起訴率は約4割と低い。不起訴処分は被害者に大きな落胆を与える。被害者の思いについて問う。

答 (警察本部長) 被害者に寄り添って活動をすべき警察の立場として思うところが3点。
①広く深く証拠を収集して、被害者とよく協議する②捜査の流れを丁寧に説明する③警察が仮に捜査を終えた後も被害者の安全を確保する。具体的には、警戒・パトロール強化、あるいは加害者に対する指導・警告により、さらなる被害防止等の検討が大事。

西村 弥子 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

①学校避難計画②避難所③UD段ボールベッド

問 ①県立校を含め、避難計画未作成35校、ハード未対策47校。どう対策するか②新・福祉避難所制度で具体的に市町村をいかに支援するか③県内で普及を進め、ユニバーサルデザイン備品開発も促進しては。

答 ①(教育長) 千年に一度の浸水想定を意識欠如を反省。計画に基づき危機感をもって訓練する②千年に一度の低地洪水に備え広域避難協議が始まった。今後注視する③市町村に注意喚起し防災フェスタで展示。産業成長応援制度に『あいサポート枠』を設け新商品開発支援もありうる。

由田 隆 議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

県立農業大学校内でのパワハラ問題について

問 県立農業大学校内で起きたパワハラ事件について、学校側はパワハラ認定の是非も含め、どのように学校運営の改善を行ったのか伺う。

答 パワハラについては、謙虚に事案に向き合い、県総務部内に第三者的立場でハラスメント防止委員会において、継続調査する。関係者からの聞き取りをしてハラスメント委員会は7月の早いうちに立ち上げ、改革の方向性を出したい。

浜崎 晋一 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

新たな時代に向けた地方創生を目指して

問 ①「骨太方針」を踏まえたコロナ後の重点施策と財源見通し②障害者差別解消法改正への対応③人との関わりで思いやりが子どもたちに根付く心の教育と教育人材育成を。

答 ①コロナ禍が「ふるさと」の価値観裏付けた。税込減をもちこたえ、子育てしやすさや技術生かせるデジタル化など本県なりの成長戦略描く②配慮義務化はあいサポート運動で先取的に実践。「人の絆」支えに加速化③(教育長)「教育は人」に共感。心に響く言葉を大事に取り組む。

浜田 一哉 議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

①水産振興の取組②就労支援の取組

問 ①TAC制度(※1)対象魚種は、10～20種が追加検討されており業界全体に影響を及ぼす。留保枠を設けるべき②「とりふる」のアプリ改修は県立ハローワークと連携し、県外に向け発信すべき。

答 ①生態解明も重要。考えは関係者とも一致しており、留保枠について国に主張していく②県外学生に県産品を送るなど「とりふる」の登録促進を図った結果、大きな成果を得られた。ハローワークにもアクセスできるようなアプリにするなど、幅広い様々な展開を図っていきたい。

尾崎 薫 議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

幼保の安全管理と県警の男女共同参画

問 ①私立幼稚園等での事故で県はどう対応するか?②国が出す膨大なガイドラインの整理や研修、私立幼稚園の看護師の人材的、財政的な支援をしては?

答 ①真相究明、再発防止のために必要なら県として検証する②この事故を機に事故対策研究会をしたい。看護師は検討する。

問 ③県警の女性活躍施策は?④警官武道募集は男性のみか。

答 (警察本部長)③幹部・職員意識改革、女性の視点反映、女性警官採用等に取り組んでいる④関係機関と協議、検討する。

(※1) TAC制度(漁獲可能量制度): 魚種ごとに年間の漁獲可能量を定め、水産資源の適切な保存・管理を行う制度。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、出前県議会、勉強会などの活動を続けています。

総務教育常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）をはじめ5議案について慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり全員一致で可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情「ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書の採択について」は、慎重な審査を行った結果、本県では小中学校全学年で少人数学級を導入しており、国では小学校全学年で35人以下学級となるよう義務教育標準法が改正され、中学校の少人数学級の検討も骨太の方針に盛り込まれたことなどから「不採択」と決定した。

福祉生活病院常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など8議案について慎重に審査を行った結果、いずれの議案も妥当と認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、今回新たに提出された陳情「精神疾患患者等の新型コロナウイルス感染症受入体制について」は、慎重に審査を行った結果、本県では、精神障がい等のある方を含むすべての陽性者が入院し、メディカルチェックを受けることとしていること、重症度に応じた入院受入体制が整備されていること、関係機関が連携して特性に応じた支援を行う体制が整えられていることから、本県の取組は、おおむね願意に対応していると考えられるため、「不採択」と決定した。

農林水産商工常任委員会



6月定例会では、本委員会所管の令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）のほか、知事が認定する民間獣医師による豚熱の発生を予防するための豚熱予防液の接種に関する項目が新設され、豚熱予防液の交付に係る手数料を新たに徴収する「鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例」や令和3年度から地域ため池総合整備事業を実施することに伴い、市町村の負担金の額を定める「県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について」など3議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

地域づくり県土警察常任委員会



6月定例会では、令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）など2議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

併せて、新たに提出され審査した陳情2件のうち、「重要土地等調査規制法に反対する意見書の提出について」は、国家の安全保障は国の専権事項であるとともに、このたび国会において可決成立した本件については必要な法律であると認識していること、一方、安全保障と基本的人権や私権に対する制約との兼ね合いに関しては、十分な配慮を講じる旨の附帯決議がなされていることから、「不採択」とすることに決定した。

自由民主党										会派民主						公明党			無所属			賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果							
安田	中島	福田	藤縄	斉木	浜崎	西川	浜田	内田	広谷	内田	野坂	島谷	坂野	西村	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	瀧辺					澤	銀杏	山川	福浜	由田	市谷	
由毅	規夫	俊史	喜和	正一	晋一	憲雄	一哉	博長	直樹	隆嗣	道明	龍司	経三郎	弥子	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	智帆	隆宏	隆	知子					
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	33	1	34	可決
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	23	11	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	25	9	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	24	10	34	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	23	11	34	不採択		

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑬	県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
⑭	特定地域等の振興を促進するための県税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑮	鳥取県副知事の選任について	同意
⑯	鳥取県監査委員の選任について	同意
⑰	鳥取県公安委員会委員の任命について	同意
⑱	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑲	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑳	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
㉑	鳥取県収用委員会予備委員の任命について	同意
❶	風力発電等に係る許認可等手続きにおける地元意見の反映を求める意見書	可決

令和3年5月臨時会付議案等議決結果 (全会一致で議決された議案)

①	令和3年度鳥取県一般会計補正予算(第1号)	可決
---	-----------------------	----

令和3年6月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	委員長報告	自由民主党						
			語堂 正範	常田 賢二	川部 洋	松田 正	藤井 一博	鹿島 功	山口 雅志
②	地方財政の充実・強化を求める意見書		○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-10	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2022年度政府予算に係る意見書の採択について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-12	重要土地等調査規制法に反対する意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-13	精神疾患患者等の新型コロナウイルス感染症受入体制について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情3年-14	東京オリンピックの中止又は再延期に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

令和3年6月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
①	令和3年度鳥取県一般会計補正予算（第2号）	可決
②	令和3年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第1号）	可決
③	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
④	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑤	鳥取県保護施設及び授産施設に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑥	鳥取県特別医療費助成条例の一部を改正する条例	可決
⑦	鳥取県福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例	可決
⑧	鳥取県県道の構造の技術的基準等に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑨	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
⑩	財産を無償で貸し付けること（鳥取県教育センター進入路）について	可決
⑪	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑫	包括外部監査契約の締結について	可決

県議会からのお知らせ

県議会ホームページのご案内

鳥取県議会

- 県議会のしくみや議会日程、議員紹介など様々な最新の情報を掲載しています。
- 本会議、常任委員会、特別委員会などは、インターネットで生中継と録画中継をしています。県議会ホームページの

 **県議会インターネット放送局** からご覧ください。

スマートフォン
からも
ご覧いただけます。



- また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。
- 平成7年5月臨時会以降の県議会本会議の議事録をインターネットから閲覧できます。時期・質問者・答弁者・単語などいろいろな方法で検索ができます。ご利用ください。

 **本会議議事録検索**

県議会議員の政務活動費及び資産等の公開

「令和2年度政務活動費収支報告書」及び「令和2年度資産等補充報告書等」の閲覧は次のとおりです。

- 時間 午前8時30分から午後5時15分（閉庁日を除く。）
- 受付 県議会事務局総務課（議会棟本館2階）
※政務活動費の収支報告の状況や領収書等は、鳥取県議会ホームページでも公開しています。

鳥取県議会 政務活動費

9月定例会の日程案

期日	日程
9月14日(火)	本会議(開会・提案理由説明)
15日(水)	常任委員会
16日(木)	本会議(代表質問)
21日(火)	
24日(金)	本会議(一般質問・質疑)
27日(月)	
29日(水)	
30日(木)	
10月4日(月)	
5日(火)	常任委員会
7日(木)	
8日(金)	特別委員会
11日(月)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

あとなぎ



4年間の議員任期の折り返しが過ぎ、議会構成も変わり広報委員会も新たなメンバーになりました。若年層にもワクチン接種が広がっていますが、未だに終息の見通しが立たない状況です。鳥取県議会は、今後も全力で県民の安心安全そして地域経済を守ります。

(広報委員長)

発行日/令和3年9月1日

編集・発行/鳥取県議会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

☎0857-26-7460 FAX0857-26-7461 e-mail: gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp